

## あ と が き

等流というものは、実河川においてほとんどないものだと思う。しかし、河川計算をすることにおいて、とても重要なことであり、まずここから始めなければならないことが多い。

$Q = AV$ という式も、本冊子でも当たり前のように使われてはいるが、これこそもっとも重要な式である。

よって、等流をよく理解することが、河川計算を理解する上での第一歩である。

1～2 担当 市川 嘉輝

少々くどい説明もあったかもしれませんが、四月～五月に開かれた勉強会について、よりわかりやすくまとめるために、当初私が理解しにくかった箇所にこだわりまとめました。また、まとめの際に気づいた点もあり、大変でしたが、有意義なものでした。

3-1 担当 三浦 敦楨

現場で実務に当たる河川技術者の方々に、河川の流れの原理についてできるだけ優しく解説したつもりである。また、例題などを多く取り入れ、具体的に示したので流量計算のパソコンによる簡易解析や河川調査などを行う場合に参考にしていただければ幸いである。

3-2 担当 鳥谷部寿人

また本冊子を作成するに当たり疑問点についてその基礎から詳しく説明して頂いた清水康行室長に感謝いたします。なお、研究室の皆様にも大変お世話になり感謝いたします。